

# 野辺地西が王手

## あす青森山田と決勝

全国高校サッカー

青森県大会2次予選

第99回全国高校サッカー

選手権青森県大会2次予選は6日、青森市のカクヒログループアスレチックスタジアムで準決勝を行った。青森山田は10-1で三農に勝利。八学野西は9-0で弘前実を下し、2校が決勝に進出した。決勝は4年連

続同一カードとなる。

青森山田は立ち上がりから攻守で三農を圧倒。前半にカウンターから1点を許したとはいえ、その後は危なげない試合運びで快勝した。八学野西は前半、弘前

実の堅守に苦しみ1-0で折り返したが、後半はオフエンスで本領を発揮し、8点を奪うゴールラッシュを見せた。決勝は8日正午、同会場でキックオフ。新型コロナウイルス

ウィルス感染症の拡大防止のため、原則無観客で実施する。

(上村公倍、甲斐大博)

▽準決勝

青森山田 105-111 三農  
八学野西 91-00 弘前実  
8-10

### 攻守一体、野西9ゴール

○：冷静な守備と相手DFの背後を奪うシンプルな攻撃で八学野西は試合の主導権を握った。無失点、大量得点での勝利に、三上寛監督は「守備を徹底し、攻撃では人数をかけて、シュート決定率を高めることができた」と納得の表情だった。

守りから攻撃のリズムをつくり、「攻守一体」で試合を進めた。守備陣が相手のロングパスにしっかりと競り合い、こぼれ球は中盤の選手が素早く拾って攻撃につなげた。鈴木泰汰主将は「相手が大きく蹴ってくるのは分かっていた。作戦通り体を張って対応し、攻撃に転じることができた」と満足げに語った。

悲願の初Vへあと1勝。目の前に立ちただかるのは、常勝軍団・青森山田だ。鈴木主将は「守備の時間は長くなると思うが、速攻から少ない好機を生かしたい。青森県高校サッカーの歴史を変える」と力を込めた。

【弘前実―八学野西】前半3分、八学野西は町屋紅斗(右)が先制ゴールを決める。青森市カクヒログループアスレチックスタジアム

